

平成24年度 第1回青少年問題協議会会議録 (要旨)

日 時：平成24年6月11日(月) 午前10時から

場 所：市役所602会議室

松本市長 (青少年問題協議会会長) 挨拶

副会長の選出 青少年問題協議会委員 承認

議題 1 平成24年度和光市青少年健全育成重点目標について
重点目標についてスポーツ青少年課長報告

議題 2 平成23年度和光市青少年関係機関・団体の事業報告について各担当課長から報告
平成24年度和光市青少年関係機関・団体の事業計画について各担当課長から報告

議題 3 青少年健全育成標語募集要領(案)について
委員 標語募集要領に特別支援学校を加えてほしい
テーマ「笑顔」～あなたの笑顔、私の笑顔～
青少年問題協議会委員 承認

議題 4 青少年健全育成作文募集要領(案)について
テーマ「私の希望」～未来に向かって～
青少年問題協議会委員 承認

議題 5 青少年問題研究会アンケート調査結果及び委員選出について
青少年問題協議会委員 承認

議題 6 会議テーマ「インターネット・携帯が青少年の健全育成に与える影響」について

- ・ 中学生、高校生は携帯ですべての用が済んでしまう。いいことにしても、悪いことにしても携帯を使用する。(仲間を集める等)アプリをダウンロードすると、情報がもれてしまうアプリがある。フィルタリングをかけたり、ウィルスチェックをする。
- ・ インターネット・携帯を使った被害がたくさんある。学習面での弊害的な部分では自学自習の事実を習得することは出来るが、粘り強く、独創的なものを生み出す、根気的なものは退化していく。
- ・ 和光市青少年問題研究会のアンケートの調査結果を見て、和光市の携帯の所持率が高いような印象を受けた。内閣府の調査と比較したときに、和光市の携帯の所持率が高いと思われる。

- ・ 携帯・パソコンは、新しいものが出てきている。そういう認識については、子どもの方が親よりも、はるかに高い。内閣府の調査結果から見ても、携帯電話を所有している青少年のインターネットの使用率を見ても小学生が 7 割 5 分ぐらいある。家庭で注意しなければならない。
- ・ 携帯を使う以上、モラルを考える。
- ・ 誹謗・中傷などの書き込みなどネット上のいじめが問題になっている。
- ・ 埼玉県ではネットパトロールの削除件数が多い。
- ・ 個人レベルでは道德教育が大切。
- ・ インターネットよりも楽しい体験活動の充実はどうか。

出席者 松本市長、大野副市長、熊谷、待鳥、上篠、森田、大久保、野口、木田、加山、榎本
本橋、嶋、富澤、内田、高見、小結、斎藤、村山、富澤、小林、田中、畠山、井上、山崎

事務局 こども福祉課長、産業支援課長、生涯学習課長、スポーツ青少年課長、課長補佐
担当者(中舘・萩原)

傍聴者 なし